

指定管理導入施設実績評価シート(平成28年度)

	施設所管課	産業観光部 商工労働政策課
施設名	大津市勤労福祉センター	
指定管理者	一般財団法人大津市勤労者互助会	
指定期間	平成25年4月1日 ~ 平成30年3月31日	
指定管理料	年額 28,209,000 円 (総額 140,687,000 円)	
設置目的	勤労者の福祉の増進及び文化教養の向上を図ることを目的として設置	
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市勤労福祉センター条例第2条に規定する事業の実施に関する業務 ・大津市勤労福祉センター条例別表に掲げるセンターの施設の使用許可に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ・その他市長が定める業務 	

主な成果 (自主事業含む)	使用料収入	目標	11,960,000 円	⇒	実績	12,360,175 円
	稼働率	目標	35 %	⇒	実績	34 %
	利用者数	目標	86 人	⇒	実績	88 人
		目標	107,516 人	⇒	実績	107,468 人
【主な自主事業実施による成果】						
平成28年度の事業収入全体では、昨年度を1,532千円上回る4,568千円、自主事業講座単独においては、30講座46回開催(平成27年度、23講座32回)し増加した。						

総合評価	I~IVによる総合評価	総合評価コメント
	B (良好)	各種講座は事業計画の459回を上回る518回開催され、勤労者福祉の増進と文化教養の向上に寄与した。また体育センターの利用率は、昨年度比で2%増加、大会議室を含む室別利用率は34%であり、昨年度比で1%の減となった。センター全体の利用者数は昨年度比で48人の減、利用料収入は227,205円の増収となった。

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項
施設の設置目的の達成 <input type="checkbox"/> 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
職員の勤務実績・配置状況・労働条件 <input type="checkbox"/> 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 <input type="checkbox"/> 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 <input type="checkbox"/> 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 <input type="checkbox"/> 障害者の雇用促進に努めていたか。	事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査	A (優良)	防火管理者を2名体制にすることや、応急手当講習会などを新たに行えた。	A (優良)	施設管理者としての意識向上に努められた。
職員の研修 <input type="checkbox"/> 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
法令等遵守 <input type="checkbox"/> 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係書類等、実地調査	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
個人情報保護・情報公開 <input type="checkbox"/> 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	協定書、管理方法 (実地調査)	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
管理記録 <input type="checkbox"/> 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 <input type="checkbox"/> 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
連絡体制 <input type="checkbox"/> 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 <input type="checkbox"/> 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
緊急時対応 <input type="checkbox"/> 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 <input type="checkbox"/> 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目/当施設 項目】		B【良好】		B【良好】	

指定管理導入施設実績評価シート(平成28年度)

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項
Ⅱ 内容・水準	施設管理 □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	事業計画書、日報	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の扱いは適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	A (優良)	扇風機、開閉式の防球ネット、下駄箱の設置を行った。	B (良好)	利用者への対応について適正に行えた。
	事業運営 □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。	事業計画書、事業報告書、自主事業計画書、実地調査	A (優良)	事業計画書以上の自主事業の開催が行えた。	B (良好)	事業計画書に基づき、適正に行えた
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	A (優良)	日常の清掃や植栽について、美化意識を持ち愛着のある施設となるよう努めた。	B (良好)	施設の維持管理を適正に行えた
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページの管理は適切に行っていたか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	A (優良)	平成28年2月より「ご意見箱」を設置し、その意見に対する取組を行えた。	B (良好)	利用者意見の収集等に適正に行えた
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	A (優良)	平成28年2月より「ご意見箱」を設置し、その意見に対する取組を行えた。	B (良好)	アンケート調査について適正に行えた
	《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目/当施設項目】			A【優良】		B【良好】
Ⅲ 収支等	経理事務 □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	A (優良)	更なるチェック強化を図るため、収納事務の見直しを行った	B (良好)	経理事務について適正に行えた
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入-支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	適正に行えた	B (良好)	適正に行えた
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の再委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、委託契約書、実地調査	A (優良)	事業計画書を上回る、事業等の開催ができた。	B (良好)	人件費の増等、仕様書との差異が見受けられるためとした。
	《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目/当施設項目】			A【優良】		B【良好】
Ⅳ その他	その他 □ 努力事項として掲げた○○○○の取り組みを推進したか	実地調査				
	《Ⅳ総括》 その他に関する評価【当施設項目】					

特記事項等 (課題・成果)	【指定管理者】 特になし
	【施設所管課】 講座開催回数の増により、勤労者福祉の増進と文化教養の向上に寄与している。また体育センターの利用率は、高い水準を保っているものの、他の室別使用率の平均は34%と低調なものが続いている。施設全体の利用者数は昨年度比で48人減、利用料収入は227,205円の増となっている。他の室別の稼働率向上に向けた取り組みを進められることを期待する。

※評価基準: 項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A~D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

```

    graph LR
      A[指定管理者自己評価] -- 提出 --> B[所管課評価]
      B -- 通知 --> C[指定管理者]
      C -- 送付 --> D[行政改革推進課(ホームページ等により結果公表)]
  
```